

第5回歯科再生医療推進ネットワーク協議会議事要旨

1. 日時：平成30年8月3日（金）13:30～14:20
2. 場所：日本橋ライフサイエンスビルディング2階 201会議室
3. 出席者（敬称略）：

日本歯科保存学会（野杵由一郎）、日本補綴歯科学会（山田将博）、日本歯科理工学会（岸田晶夫）、日本歯周病学会（栗原英見）、日本歯科医療管理学会（尾崎哲則）、日本臨床口腔病理学会（前田初彦）、日本歯内療法学会（五十嵐勝）、日本顎変形症学会（片桐 渉）、日本顎顔面補綴学会（米原啓之）、日本外傷歯学会（宮新美智世）、東京形成歯科研究会（奥寺 元）、日本歯科医学会（井上 孝）、国公立大学歯科臨床研究推進会議（栗原英見）、日本再生医療学会（大島勇人、岡田 潔、古川和親、海江田千鶴）

欠席（歯科基礎医学会、日本口腔外科学会、日本歯科医史学会、日本歯科薬物療法学会、日本小児口腔外科学会、日本顎顔面インプラント学会、日本口腔腫瘍学会）

未回答（日本口腔インプラント学会、日本接着歯学会、日本レーザー歯学会、日本口腔感染症学会、日本有病者歯科医療学会、日本歯科心身医学会、日本口腔リハビリテーション学会、日本口腔科学会、日本再生歯科医学会、バイオインテグレーション学会、日本口腔顔面痛学会）

4. 報告事項

- 1) 第4回歯科再生医療推進ネットワーク協議会議事要旨（資料1）が承認された。
- 2) 大島勇人理事（日本再生医療学会）より、資料2に基づき参加学会（29学会・団体、日本歯科医学会、日本再生医療学会）担当者一覧の説明があり、担当者が決まっていない学会については担当者を確認する旨説明があった。
- 3) 岡田 潔幹事（日本再生医療学会）より、資料3に基づき、再生医療等臨床研究促進基盤事業（ナショナルコンソーシアム）について報告があった。臨床研究支援モジュール、人材育成モジュール、データベース（NRMD）モジュール、産学連携モジュール、社学連携モジュールの進捗状況について説明があった。また、歯科PRP療法における再生医療等提供計画ひな形を公開したこと、データベースに関して、第三種再生医療等のデータの集め方については検討中であるとの説明があった。
- 4) 古川和親幹事（日本再生医療学会）より、資料4に基づき、再生医療サポート保険（自由診療）について説明があり、全体（約740名）のうち歯科が3～4割を占めることが報告された。合わせて再生医療（臨床研究）についても説明があり、再生医療学会認定医が携わっている臨床研究には割引があることが報告された。
- 5) 大島勇人理事より、資料5に基づき、FIRMによる電話によるアンケート調査結果である「第三種再生医療等を提供する医療機関の実態調査」について説明があった。

5. 協議事項

- 1) 大島勇人理事より、資料6に基づき、会則の説明があり、原案通り承認された。
- 2) 大島勇人理事より、歯科再生医療推進ネットワーク協議会主催シンポジウムとして第18回日本再生医療学会総会におけるシンポジウムの詳細が報告された。

第 18 回日本再生医療学会総会（3/21～3/23：神戸国際会議場/神戸国際展示場）におけるシンポジウムについて

【テーマ】「歯科再生医療推進ネットワーク協議会主催シンポジウム Vol. 3：歯科領域の再生医療の現状と展望」（仮）

【座長】本田雅規（愛知学院大学歯学部口腔解剖学講座）、大島勇人（新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面再建学講座硬組織形態学分野）

【演者】1. 朝比奈泉（長崎大学生命医科学域）：「難治性唾液腺萎縮症に対する高機能細胞治療薬 E-MNC に関する臨床研究」（仮）、2. 村上伸也（大阪大学大学院歯学研究科口腔分子免疫制御学講座歯周病分子病態学歯周病診断制御学）：「歯科再生医療拠点を活用した自己脂肪組織由来幹細胞移植による歯周組織再生医療の確立」（仮）、3. 岩田隆紀（東京女子医科大学医学部先端生命医科学研究所）：「同種歯根膜由来間葉系幹細胞シートによる歯周組織の再建」（仮）、4. 飛田護邦（順天堂大学革新的医療技術開発研究センター）：「自己脂肪組織幹細胞及び多血小板血漿を用いた歯周組織再生医療技術の妥当性及び提供方法の検討」（仮）

- 3) 今後の活動について意見交換を行い、協議会で企画するシンポジウムについて、開業医が興味を持てるような（例「PRP 臨床応用における安全確保」）シンポジウムの希望が出された。また、大島勇人理事より日本歯科医学会が企画するシンポジウムについても本協議会を活用して欲しいと発言があった。専門医・認定医問題について、日本医学会と日本歯科医学会の関係、医師と歯科医師の資格問題等について意見交換が行われた。

（文責 大島 勇人）